



日々勉強！  
結果に責任！

前 参議院議員(比例代表 全国区)

赤池まさあき

～ 国づくり、地域づくりは、人づくりから～

令和7年(2025年)10月23日(木曜日)

自民党 Lib Dems  
Liberal Democratic Party of JAPAN

国政ニュース

# 年平均賃金が503万円へ。約19%増！

◎価格交渉と転嫁の促進を  
第二の振興策として、私は、賃上げに繋がる価格交渉と転嫁を促進すべく、精力的に活動してきました。

関連省庁へ働きかけを行い、その結果、金融庁は、令和五年六月から車体整備工場約三千社を調査し、令和六年二月、損保会社に工賃引き上げの要請をするに至りました。昨年夏には、関係省庁に更なる働きかけを行い、国土交通省に専用の情報提供窓口が開設され、関係省庁連携のもと価格交渉と転嫁を推進する体制ができ、処遇改善へと繋がることになりました。そして、この窓口に寄せられた情報に基づき、「車体整備業の価格交渉の指針(ガイドライン)」が本年三月に公表され、概要は次の通りです。

## ◎価格交渉の指針とは

第一、見積書の作成は損保会社に任せず、自社で実施すること。

第二、人件費等上昇も考慮した工賃単価の提案。

第三、作業時間の実態を踏まえた価格請求。

第四、見積書や作業記録簿等は標準様式を使用。

第五、保険の代車費用の支払い約款の確認。

第六、恣意的に価格を変えないこと。

第七、損保会社との交渉が不合理で進まない時は、国交省の窓口へ情報提供を。

第八、交渉がまとまらない時は依頼者に判断を仰ぐ。

第九、依頼者には作業内容と見積を丁寧に説明する。

なお、ネットでの情報提供窓口は引き続き設置されておりますので、価格交渉転嫁の状況を書き込んで頂ければと思います。



積極的に価格交渉と転嫁を行って頂き、設備投資や物価高に負けない賃上げ実現に繋げていければと思っています。

## ◎補助金の積極活用

第三の振興策は、補助金活用による生産性向上です。

### (1) スキャンツール補助金

昨年十月からOBD検査が始まり、スキャンツール(パソコン含む)補助金については、今年度も七億円予算が執行中です。昨年末の補正予算では十・五億円、今年度は三・六億円が計上され、公募が開始されています。上限は十五万円・三分の一までです。まだまだ予算はありますので、積極的にご活用下さい。

なお、来年度も八・七億円を計上し、上限も倍増して三十万円となります。

### (2) 省力化投資補助金

人手不足解消に効果がある

製品の導入を支援します。対象の製品は、全国中小企業団体中央会が運営している中小企業省力化投資補助金というサイトにカタログが掲載されています。購入方法や支援の申請等もそのサイトで説明されています。自動車整備関係では、①自動調色システム、②スポット溶接機、③パルス制御溶接機、④溶接ブースが掲載されています。上限は一千五百万円・二分の一。

### (3) 電動車充電設備補助金

外部給電器への補助金に関しては、既に予算は確保されており、申請受付中です。

### (4) IT導入補助金

業務効率化やデジタル化の推進、セキュリティ対策に向けたITツール等の導入費用を支援します。上限は四百五十万円・二分の一です。

### (5) ものづくり補助金

生産性向上や持続的な賃上げに向けた革新的な新製品・新サービスの開発に必要な設備投資等を支援します。上限は三千五百万円・二分の一です。

### (6) 省エネ等補助金

省エネと脱炭素化を同時に推進すべく、高効率空調等、補助対象設備のリストから機器を選択し更新する場合、省エネ率十%以上等の要件を条件に支援します。上限は一億

円・三分の一。

### (7) 事業承継・M&A補助金

事業承継に際しての設備投資や、M&A(経営統合)の専門家活用費用等を支援します。上限は一千万円・二分の一です。

来年度概算要求でも予算を増額要求しています。

また、予算関係以外にも、税制支援策があります。

まず、賃上げ税制として、全雇用者の給与等支給額(前年度比)がプラス一・五%なら税額控除率は十五%、プラス二・五%なら三十%となります。

さらに、前年度比プラス五%なら税額控除率を十%上乗せし、条件によっては更なる上乗せ措置があります。奨学金返還について、企業が社員の代位弁済すると税制支援する制度もあります。

近年の価格交渉と転嫁、生産性向上の取り組みもあり、自動車整備業の年平均賃金が五百万円を超え、五百三万円へと上昇し、全業種五百二十七万円に迫りつつあります(令和六年)。直近五年間の伸び率は、約十九%(全業種八%)となりました。

引き続き「整備なくして、発展なし!」をモットーに、全力で取り組み続けます。

(赤池まさあき)





日々勉強！  
結果に責任！

前 参議院議員(比例代表 全国区)

令和7年(2025年) 10月23日(木曜日)

自民党 Lib Dems  
Liberal Democratic Party of JAPAN

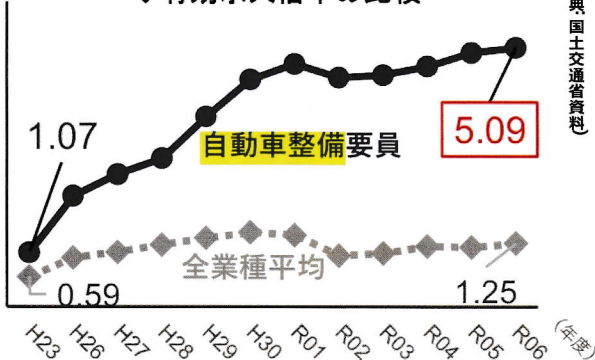
# 赤池まさあき

国政ニュース

～ 国づくり、地域づくりは、人づくりから ～

## 高市新政権発足！「整備」なくして発展なし！

◆有効求人倍率の比較



振興策は①人手不足対策、②価格交渉と転嫁、③補助金の積極活用！

去る七月の参院選では、皆様からお支え頂いたお蔭で、最後まで力を振り絞ることができました。ただ、残念ながら、所属する自民党への大逆風もあり、当選はかなわず、自民党も結党以来、初の衆参過半数割れという結果に終わりました。参院選後は、党での選挙総括を踏まえ、続いて実施された党総裁選で高市早苗総裁が誕生。紆余曲折を経て、高市新政権が発足しました。国民の支持と政治の安定を取り戻す活動は始まったばかりです。私も活動を継続し、我が国最大の自動車産業の更なる

発展には自動車整備が不可欠だという強い思いで、引き続き「整備なくして、発展なし！」をスローガンに、全力を尽くしてまいります。

◎人手不足対策  
第一の振興策は、人手不足対策です。

有効求人倍率は五・〇九となる等、深刻な人材不足の状況が改善されていません。全国どの地域でも自動車の整備を受けられる状況を維持するためには、整備士の魅力を上出し、整備人材の確保・育成を進める環境を整えることが必須です。

国交省では、来年度概算要求において、今年度予算一・九億円から倍増に近い三・七億円を計上しました。

具体的には、①自動車整備士の魅力向上・職業PRとして、自動車整備士等の働きやすい・働きたいのある職場づくりガイドラインの周知・改正等、若年層等への整備士体験等による職業PR。

②自動車整備事業者等への人材確保・育成支援として、自動車整備事業者間又は他分野間の整備事業連携の支援、円滑な外国人材受入れに関する調査、省力化機器・設備等の導入推進支援、養

成施設における人材確保・育成対策(設備・教材・学生確保支援策等)の効果検証。

③修理作業による工賃等の調査として、多様な車種における事故車修理標準作業時間の調査、工賃等の動向調査を行うことにしています。

そして、外国人材活用とともに、私のこれまでの活動として、日本の若者に車へ関心を持つてもらうべく、全国の工業高校校長会と自動車団体との定期的な意見交換会を提案・実現してきました。

その中で、同校長会からの要望で、文科省・スポーツ庁、関係者のご協力のもと、昨年度から工業高校生の自動車等のレースのピット見学会の実施に繋がりました。

昨年三月には、東京ビックサイト(東京お台場)公道で始めて開催されたフォーミュラE東京大会に工業高校生四十名を招待し、また、昨年十月のモビリティリゾートモテギ(栃木)での国際オートバイレースMotogpにも高校生を招待しました。

今年度は、昨年に加え、富士スピードウェイ(静岡)や鈴鹿サーキット(三重)でも実施され、合計七戦のレースピット見学が行われています。

赤池誠章(あかいけまさあき) 昭和三十六年山梨県生まれ。明治大学卒。松下政経塾出身。自動車整備士養成の専門学校長を経て、衆議院議員に初当選。平成二十五年の参院選比例代表(全国区)で国政復帰。令和元年再選。国土交通委員会理事、文部科学大臣政務官、文部科学委員長、自民党文部科学部会長(三期)、内閣府副大臣、党政務調査会副会長(三期)を務めた。自動車整備議員連盟・安全な自動車の車体を確保する議員連盟アドバイザー(予定)。

《連絡先》※出前講座伺います  
TEL: 03-6261-9225  
FAX: 03-6261-9251  
contact-office@akaike.com  
https://www.akaike.com

※郵便物は下記の私設私書箱(SP601)へお願いいたします  
〒104-8238 東京都中央区銀座5-15-1 SP601

【後援会・自民党員募集中！】

活動報告はこちらから！



高市早苗 新総理とともに！